

2022年度 地域IT人材育成事業 【島根県立浜田商業高等学校】

2022年度
地域IT人材育成事業

島根県立浜田商業高等学校

支援企業

(株) e-Front
島根支社



対象学年・授業

3年生 情報処理科 / 総合実践 (4単位)

目標

個人や企業等の顧客の考え・行動を深く捉えた上で、課題解決に必要なサービスを提供することができ、それらを「IT」の技術を用いて解決することができる人材育成を目標としています。

基本方針

ICTの技術・知識に加え、身近な課題から新たなサービスを考察するプロセスを学びます。そして、考察したサービスを提案する実践的な授業を行います。地域社会・企業内外にある課題を発見し、自ら考え新たな提案を行うことができる起業家の卵を育てます。

Point 1

浜商 × ICT ×アントレプレナーシップ

浜田商業高校は、1965年創立の伝統ある石見部唯一の県立商業高校です。中でも、同校の情報処理科では、大きく変動する社会で地域社会のニーズに応えながら活躍できる次世代の人材育成を行うために、2016年度から「地域IT人材育成事業」に基づく授業が展開されています。実社会で用いられる最新技術等を取り入れて実践的に学習を進めています。

Point 2

身近な困りごと（不の体験）をビジネスに！

2022年度の本事業は、生徒たちの身近にある「困りごと」や「不の体験」を基に課題を発掘し、解決策のアイデアを考察してビジネスを生み出す方法を採用しました。生徒が持ち寄った「困りごと」などをアイデア発想のきっかけとして発展させていながら、『誰の、どんな困りごとを、どうやって解決するのか』を意識して最終的にビジネスを創り上げてもらいました。また、3学期には本事業を通じて考え出したビジネスプランを発表する機会として、最終成果発表会を開催しました。実際に現場で活躍する投資家や企業の方をお招きして指導・助言を頂くと共にこれまでの成果を披露しました。高校生ならではの視点で大人もびっくりのビジネスアイデアが毎年生まれています。

Point 3

デザイン思考 & リーンローンチパッド

本事業ではアメリカのシリコンバレーで多く使用されているアイデア創出の方法の一つである「デザイン思考」と仮説検証による事業創造プログラムである「リーンローンチパッド」を取り入れています。講義を通して、下記のようなプロセスでビジネスアイデアを考えていきます。

- ①デザイン思考で新しいアイデアを生み出す
- ②課題の深堀り・解決方法のアイデア出し
- ③アイデアをビジネスプランへ落とし込む
- ④課題を持つ方へのインタビュー・ビジネスプランのブラッシュアップ
- ⑤課題・ソリューションアイデアの提案

※①～⑤を繰り返し実施することで、より良いアイデアを創出する術を身に着けます。